

ノリ養殖情報（第14報）

令和7年1月22日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今年度の調査は、10月中旬から3月下旬までの期間に、陸上調査を17回、海上調査を6回の合計23回予定しています。
- 今回の調査は【海上】調査です。

1. 調査結果

調査日：1月20日(月) 天候：晴れ 気温：14.7℃(10:55時点)

(今回(1/20)の水温等の測定時間帯 10:55~12:20)

(前回(1/14)の水温等の測定時間帯 2:47~4:51)

| 調査点 | 水温 ℃ | | 比重 σ15 | 栄養塩：無機態窒素 μg-at/L | | クロロ フィルa値 | 病害 検鏡結果 | | |
|---------|---------|-------------|-----------|----------------------|-------------|--------------|------------|----|----|
| | 今回 | 前回 1月14日 | 今回 | 今回 | 前回 1月14日 | 今回 | アカ | ツボ | |
| 1. 神代 | 支柱 | 10.2 | 8.4 | 23.4 | 2.7 | 8.5 | 3.2 | ++ | なし |
| 2. 仲よし下 | 支柱 | 11.9 | 9.2 | 23.7 | 6.0 | 9.0 | 2.8 | ++ | なし |
| 3. 半田 | ベタ | 12.0 | 9.3 | 23.8 | 2.0 | 10.8 | 3.2 | ++ | なし |
| 4. 三会 | ベタ | 12.1 | 9.9 | 23.8 | 3.0 | 8.0 | 3.7 | なし | なし |

※ 栄養塩の期待値は7.0μg-at/L以上です。

※ アカ、ツボ：なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

●主な植物プランクトン（単位：細胞/mL）

| 植物プランクトン (優占種) | 小型珪藻 | | | 大型珪藻 |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|
| | スケルトネマ属 | キートセロス属 | タラシオネマ属 | リゾソレニア属 |
| 1. 神代 | 137 | 80 | 6 | 8 |
| 2. 仲よし下 | 105 | 37 | 15 | 0 |
| 3. 半田 | 99 | 22 | 0 | 0 |
| 4. 三会 | 116 | 13 | 0 | 2 |

●調査結果概要

- ・水温は、10.2℃~12.1℃。海水比重(σ15)は、23.4~23.8。
- ・栄養塩は、2.0~6.0μg-at/Lで、4観測点全てでノリ養殖における期待値7.0μg-at/Lを下回りました。
- ・あかぐされ病は神代・仲よし下・半田で目視レベルが確認されました。
- ・壺状菌病は確認されませんでした。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県:ユーカンピアの細胞数は横ばいですが、キートセロスは減少傾向です(1月20日)。
- 福岡県:有明海福岡県海域において珪藻のキートセロス属、ユーカンピア ゾディアクス、リゾソレニア セチゲラ、渦鞭毛藻のアカシオ サンガイネアによる着色域が確認されました(1月16日)。

3. 他県の情報

- 佐賀県:全域で摘採、網の撤去が行われています。アカは、21点中15点(うち顕微鏡レベル13点、肉眼視レベル2点)で確認されました。ツボは確認されませんでした。全地区でノリの色調低下が見られました(12月24日)。
- 福岡県:現在、6回目の摘採、網の撤去が行われています。アカは5調査点で確認され、重度が2点、軽度が3点でした。ツボは確認されませんでした。色落ちは11調査点で確認され、重度が9点、中度が2点でした(1月20日)。
- 熊本県:アカの感染が22調査地点中13地点で確認され拡大しています。色調低下(色落ち)が一部の漁場で見られました(1月21日)。

4. 本県の情報

- ベタ漁場と支柱漁場で摘採が行われています。
- 1地点で色調低下が見られました。
- ノリ網の検鏡結果
 - ・4地点中3点であかぐされ病が確認されました。
 - ・付着物は珪藻(タビュラリア、リクモフォラなど)が見られました。
 - ・葉長は22.0~143.7mmの範囲で、平均は26.9~109.8mmでした。